

案件化調査

ベトナム国 産業用ロボット普及のための案件化調査

企業・サイト概要

- 提案企業：株式会社トヨタカ
- 提案企業所在地：愛知県岡崎市
- サイト・C/P機関：ベトナム国ホーチミン市・ベトナム国家大学ホーチミン工科大学

ベトナム国の開発課題

- 産業構造の高度化に必要な先端技術者が不足している
- 教育機関(大学、短大、職業訓練校)において、先端技術者育成のための指導用機材が不足しており、カリキュラムも産業界のニーズを反映した内容となっておらず、かつ指導者の知識・技術も十分ではない。

トヨタカの製品・技術

- 生産現場のニーズに応えることができる産業用ロボットシステム教材
- ロボットシステムの複数の用途(バリ取り・仕上げ、溶接、材料搬送など)に1台で対応できるアプリケーションを標準装備
- 自社開発したスピンドルユニットにより設備の小型化とコストダウンを実現

調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

- 複数の大学・職業訓練校に対する教育用ロボットの供与、カリキュラムの改訂、教員の指導を、日本の大学と協力して、民間提案型普及・実証事業により実施する。工業団地とも連携し、産業界のニーズも把握・反映する。
- ロボット工学を指導する教育機関の能力が向上し、それによって質の高いロボット技術者がより多く育成される。

日本の中小企業のビジネス展開

- 産業用ロボットシステムを必要とする企業の技術者育成コストが軽減され、本邦製造業の新たな進出機会となる。
- ロボット関連産業の進出契機となる。

